

(訳文)

意見提出通知書

2004年 3月 31日

電気電子審査局 電子審査担当官室

審査官 徐 ホソン

出願人：株式会社豊田自動織機（出願人コード：519980959940）

日本国愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

代理人：特許法人 KOREANA

ソウル市江南区駅三洞824-19

出願番号：特許出願第2002-11890号

発明の名称：駐車支援装置

この出願に対する審査の結果、下記のと通りの拒絶理由があり、特許法第63条の規定によりこれを通知しますので、意見があるか、又は補正が必要な場合は、**2004年5月31日**までに意見書[特許法施行規則の別紙第25号の2の書式]又は/及び補正書[特許法施行規則の別紙第5号の書式]を提出して下さい（上記の期間は、毎回1月ずつ延長申請することができ、別途の期間延長承認の通知はしません）。

[理由]

この出願の特許請求の範囲第1項乃至第18項に記載の発明は、その出願前に、その発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が、下記に指摘した発明に基づいて容易に発明をすることができたものと認められるので、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができません。



[記]

本出願は、駐車支援装置に関するものであり、目標案内位置に対する接近を示す音色Aの第1の断続音と、一致を示す音色Bの連続音と、行過ぎを示す音色Cの第2の断続音とからなる駐車支援情報を提供することを要旨としているが、

請求項第1項乃至第18項において、車両の旋回位置の基準を設定/検出する手段と、前記基準に基づいた車両の旋回位置を検出する手段と、検出された前記車両の旋回位置に基づいて運転者に目標案内位置に関する駐車支援情報を通知する手段とを備え、音、光または振動等により複数の状態を案内する駐車支援技術は、

引用技術である日本国特開平11-53933号(公開：1999. 2. 26)において、第1及び第2の車体感知センサーを備え、接近可能乃至停止を示す誘導音、ランプ、発光ランプ等により駐車誘導を行う技術と極めて類似しています。

いわば、本出願は、接近中に行過ぎ及び到達等を細分化し、これをそれぞれ音、光または振動により案内する点において特徴的な相違点があると言えるが、引用技術においても、複数のセンサーを備え、接近可能乃至停止を区分して案内することについて記載しているため、これに基づいて細分化された案内を行う等のことは、当業者の必要に応じて容易に採択して結合され得る選択的事項に過ぎず、構成の困難性が認められません。

[添付]

添付1 日本国特開平11-53933号(公開：1999. 2. 26)

以上

출력 일자: 2004/4/1

발송번호 : 9-5-2004-012974519

발송일자 : 2004.03.31

제출기일 : 2004.05.31

수신 : 서울 강남구 역삼1동 824-19 동경빌딩(

특허법인 코리아나)

특허법인코리아나[박해선] 귀하
135-934

특허청 의견제출통지서

Yap-an/

출원인 명칭 가부시키가이샤 도요다 지도췌키 (출원인코드: 519980959940)

주소 일본 아이찌켄 가리야시 도요다췌 2췌메 1반췌

대리인 명칭 특허법인코리아나

주소 서울 강남구 역삼1동 824-19 동경빌딩(특허법인 코리아나)

지정된변리사 박해선 외 2명

출원번호 10-2002-0011890

발명의 명칭 주차지원장치

이 출원에 대한 심사결과 아래와 같은 거절이유가 있어 특허법 제63조의 규정에 의하여 이를 통지하오니 의견이 있거나 보정이 필요할 경우에는 상기 제출기일까지 의견서[특허법시행규칙 별지 제25호의2서식] 또는/및 보정서[특허법시행규칙 별지 제5호서식]를 제출하여 주시기 바랍니다.(상기 제출기일에 대하여 매회 1월 단위로 연장을 신청할 수 있으며, 이 신청에 대하여 별도의 기간연장승인통지는 하지 않습니다.)

[이유]

이 출원의 특허청구범위 제1항 내지 제18항에 기재된 발명은 그 출원전에 이 발명이 속하는 기술분야에서 통상의 지식을 가진 자가 아래에 지적한 것에 의하여 용이하게 발명할 수 있는 것이므로 특허법 제29조제2항의 규정에 의하여 특허를 받을 수 없습니다.

- 아래 -

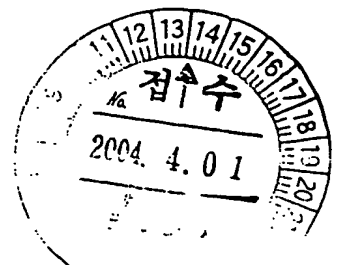
본 출원은 주차지원장치에 관한 것으로서, 목표안내위치에 대한 접근을 나타내는 음색 A의 제1단속음과, 일치를 나타내는 음색 B의 연속음과, 초월을 나타내는 음색 C의 제2단속음으로 이루어진 주차지원정보를 제공하는 것을 요지로 하고 있으나,

청구항 제1항 내지 제18항에 있어서, 차량의 선회위치의 기준을 설정/검출하는 수단과, 상기 기준에 의거한 차량의 선회위치를 검출하는 수단과, 검출된 상기 차량의 선회위치에 의거하여 운전자에게 목표안내위치에 관한 주차지원정보를 통지하는 수단을 구비하고, 소리, 빛 또는 진동 등에 의해 복수의 상태를 안내하는 주차지원 기술은, 인용기술인 일본공개특허공보 평11-53933호(공개 1999.02.26)에서, 제1 및 제2의 차체 감지센서를 구비하고 접근가능 내지 정지를 나타내는 유도음, 램프, 발광램프 등으로써 주차 유도를 하는 기술과 매우 유사합니다.

비록 본 출원은 접근 중, 초월 및 도달 등을 세분화하고, 이를 각기 소리, 빛 또는 진동으로 안내하는 특징적 차이가 있다 할 수 있겠으나, 인용기술에서도 복수의 센서를 구비하여 접근가능 내지 정지를 구분 안내하는 것을 기재하고 있어, 이로부터 세분화된 안내를 한다거나 하는 등의 것은 당업자의 필요에 따라 용이하게 채택결합될 수 있는 선택사항에 불과하여 구성의 곤란성이 인정되지 않습니다.

[참부]

참부1 일본공개특허공보 평11-53933호(공개 1999.02.26) 끝.



출력 일자: 2004/4/1

2004.03.31

특허청

전기전자심사국

전자심사담당관실

심사관 서호선



<<안내>>

문의사항이 있으시면 ☎ 로 문의하시기 바랍니다.

특허청 직원 모두는 깨끗한 특허행정의 구현을 위하여 최선을 다하고 있습니다. 만일 업무처리과정에서 직원의 부조리행위가 있으면 신고하여 주시기 바랍니다.

▶ 홈페이지(www.kipo.go.kr)내 부조리신고센터

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-053933

(43)Date of publication of application : 26.02.1999

(51)Int.Cl.

F21V 33/00

(21)Application number : 09-206947

(71)Applicant : TEC CORP

(22)Date of filing : 31.07.1997

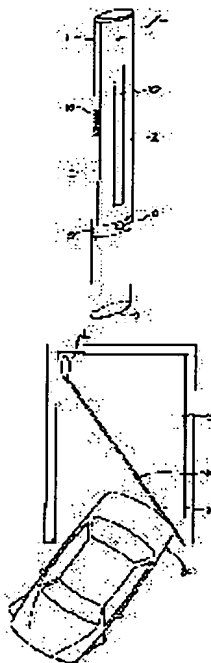
(72)Inventor : YAMAMOTO YOSHIRO
SATO SHIGERU

(54) PARKING GUIDE DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a parking guide device applicable to all types of car and capable of easy installation in a narrow dwelling parking space by providing first and second body detecting sensors, a sign lamp for 'approachable', a guide sound generating device, a 'stop' sign lamp, an alarm sound generating device, and a nighttime-dedicated illuminating lamp, and constituting the device as a single body independent of the car.

SOLUTION: First and second car body sensors 5, 10 are arranged at a height for sensing a car body from the setting surface 3 of a parking guide device body 2 on this side end of the parking guide device body 2 and on the right side surface, substantially orthogonal to the sensor 5, respectively. A parking guide device 1 is regulated so as to be situated in the deep left corner of a parking garage on the line connecting a sensing line 5a of the sensor to this side right top end of a parking space. The sensing line of the sensor 10 is parallel to the rear wall of the parking space 25. Thus, a car can be guided safely via the sensing line 5a or the like of each sensor, an 'approachable' sign lamp 6, a 'stop' sign lamp 11, a speaker 15 and a nighttime-dedicated illuminating lamp 20 at nights and days.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-53933

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月26日

(51) Int.Cl.⁶

F 2 1 V 33/00

識別記号

F I

F 2 1 V 33/00

J

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-206947

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月31日

(71) 出願人 000003562

株式会社テック

静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(72) 発明者 山本 義郎

東京都千代田区内神田1丁目14番10号 株式会社テック本社事務所内

(72) 発明者 佐藤 繁

東京都千代田区内神田1丁目14番10号 株式会社テック本社事務所内

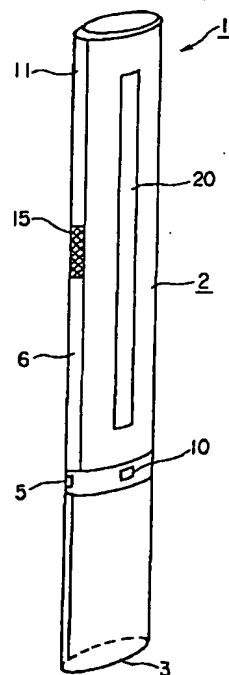
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

(54) 【発明の名称】 駐車誘導装置

(57) 【要約】

【課題】本発明は、駐車場に設置するだけで使用できる単体としての駐車誘導装置を提供する。

【解決手段】駐車スペース25に進入する車24を感知する第1の車体感知センサー5と、当該第1の車体感知センサーが前記車を感知すると点灯する進入可能サイン灯6と誘導音を発する発生装置15と、前記駐車スペース内の停止位置に車が来たことを検知する第2の車体感知センサー10と、当該第2の車体感知センサーが前記車を検知すると点灯する停止サイン灯11と警告音を発する発生装置15と、夜間時のみ、点灯する夜間専用照明灯20とを備えたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 駐車スペースに進入する車を検知する第1の車体感知センサーと、当該第1の車体感知センサーが前記車を検知すると点灯する進入可能サイン灯と誘導音を発する発生装置と、

前記駐車スペース内の停止位置に車が来たことを検知する第2の車体感知センサーと、当該第2の車体感知センサーが前記車を検知すると点灯する停止サイン灯と警告音を発する発生装置と、
夜間時のみ、点灯する夜間専用照明灯とを備えたことを特徴とする駐車誘導装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、主に、一般家庭の駐車場に設置して使用する駐車誘導装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の駐車誘導装置は、例えば、車の後端部に赤外線センサーを組み込み、当該赤外線センサーで車の後端部と駐車場の駐車スペース後壁との距離を検知しているものであった。当該駐車誘導装置を搭載した車が、駐車スペースに進入する際、当該車が駐車スペース後壁に所定距離近かざくと、車に搭載している駐車誘導装置の警報器が鳴り、駐車スペース後壁に近かざくにつれて、警報器の音が段々に大きくなるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように従来の駐車誘導装置は車の後端部に組み込んでいたので、当該駐車誘導装置が組み込まれている車以外は、当該駐車誘導装置を使用できないという問題があった。

【0004】 また、当該駐車誘導装置は、駐車スペース後壁を検知して作動することから、駐車場の駐車スペースに後壁がない場合は、使用できないという問題があった。本発明は上記の点に鑑みてなされたもので、駐車場に設置するだけで使用できる単体としての駐車誘導装置を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を達成するために、本発明の駐車誘導装置は、駐車スペースに進入する車を検知する第1の車体感知センサーと、当該第1の車体感知センサーが前記車を検知すると点灯する進入可能サイン灯と誘導音を発する発生装置と、前記駐車スペース内の停止位置に車が来たことを検知する第2の車体感知センサーと、当該第2の車体感知センサーが前記車を検知すると点灯する停止サイン灯と警告音を発する発生装置と、夜間時のみ、点灯する夜間専用照明灯とを備えたことを特徴とするものである。

【0006】 上記の構成において、車から駐車誘導装置を独立させることにより、あらゆる車への対応が可能になる。また、駐車スペースの後部角部に設置した駐車誘導装置のセンサーで車の後端部を検知するので、駐車ス

ペースに後壁がない場合でも使用できる。さらに、夜間照明も装備しているため、降車の際に、安全である。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、図1から図6を参照して本発明の一実施の形態を説明する。図1は縦長で持運び可能な駐車誘導装置の外観を示すもので、当該駐車誘導装置は、図2に示すように車が入る駐車スペースの奥コーナー部に設置し使用するものである。

【0008】 駐車誘導装置1は、縦長で断面略楕円形をなし、進入する車を検知する第1の車体感知センサー5と、駐車スペース内の停止位置に車が来たことを検知する第2の車体感知センサー10と、第1の車体感知センサー5が駐車スペースに進入する車を検知すると点灯する進入可能サイン灯6と誘導音を発する発生装置としてのスピーカー15と、第2の車体感知センサー10が停止位置に車が来たことを検知すると点灯する停止サイン灯11と警告音を発する発生装置としてのスピーカー15と、夜間のみ点灯する夜間専用照明灯20とから構成している。

【0009】 前記第1の車体感知センサー5と第2の車体感知センサー10とは、駐車誘導装置本体2の設置面3から車体を検知する高さで、駐車誘導装置本体2の手前側端面には第1の車体感知センサー5が配置されるとともに、当該第1の車体感知センサーとはほぼ直交する右側面に第2の車体感知センサー10が配置されている。なお、第1の車体感知センサーと第2の車体感知センサーとは、図示しないが水平方向にそれぞれ位置を調整できる構造、例えば、センサーを取付けた取付部材が水平方向にスライドする構造になっている。

【0010】 第1の車体感知センサー5の上側には、誘導音又は警告音を発するスピーカー15を挟んで下側に進入可能サイン灯6としての縦長のグリーンのライトが、上側に停止サイン灯11としての縦長のレッドのライトが設置されている。また、第2の車体感知センサー10の上側には、縦長の夜間専用照明灯20が設置されている。

【0011】 なお、第1の車体感知センサーと第2の車体感知センサーは、赤外線センサーや超音波センサーなどが使用されている。

【0012】 駐車誘導装置の設置方法とその作動を説明する。

【0013】 図2は駐車スペースに車を入れる状態を示した上面図で、本発明に係る駐車誘導装置は、駐車場の奥左隅に第1の車体感知センサーを手前側にして設置されている。また、第1の車体感知センサー5は、駐車スペース25の手前側右先端と結んだ線上に位置するように調整する。

【0014】 車24が駐車スペース25にバックして入庫する際、車が第1の車体感知センサーの感知線5a上に来ると、図3に示すように、当該第1の車体感知セン

サー5が車の後端部24aを感知し、進入可能サイン灯6である緑色のライトを点灯すると同時にスピーカ15からビッ、ビッ、ビッという誘導音を発する。なお、所定時間経過すると、緑色のライトが消灯すると同時に、誘導音も停止する。

【0015】図4は駐車スペース内の停止位置に車が来た状態を示した上面図で、本発明に係る駐車誘導装置は駐車場の奥左隅に設置され、第2の車体感知センサー10は、当該第2の車体感知センサーの感知線10aが駐車スペース25の後壁26と平行になるように調整する。

【0016】車24が第2の車体感知センサーの感知線10a上に来ると、当該第2の車体感知センサーは車の後端部24aを感知し、図5に示すように、停止サイン灯11としての赤色のライトが点灯し、同時に、スピーカ15からビーという警告音を発する。このとき、緑色のライトが消灯すると同時に、誘導音も停止する。

【0017】数秒後、停止サイン灯11としての赤色のライトが消灯すると同時に、警告音も停止する。夜間の場合には、駐車誘導装置に設置されている暗さセンサー（図示せず）が作動し、夜間専用照明灯20が点灯する。

【0018】次に上記実施の形態の作用を説明する。

【0019】駐車誘導装置1は、持ち運び可能な構造になっていることから、車から独立させることにより、あらゆる車への対応が可能になるとともに、狭い住宅用駐車スペースにも簡単に設置ができる。

【0020】また、従来の駐車誘導装置は駐車スペースの後壁を感知していたのに対し、本発明は、駐車スペースの奥隅部に設置した駐車誘導装置の第2の車体感知センサー10で車の後端部24aを感知するので、駐車スペース25に後壁26がない場合でも使用できる。

【0021】さらに、夜間に点灯する夜間専用の照明灯20を装備しているため、降車の際に、安全である。

【0022】また、駐車スペース25に車を進入させる際は、進入可能サイン灯6と誘導音とで誘導するとともに、車を停止する位置を停止サイン灯11と警告音とで

知らせる。このため、光と音とで、車を安全に誘導・停止させることが可能である。

【0023】

【発明の効果】以上詳記したように本発明によれば、駐車誘導装置は、持ち運びが可能な構造になっていることから、車から当該駐車誘導装置を独立させることにより、あらゆる車への対応が可能になるとともに、狭い住宅用駐車スペースに簡単に設置ができる。

【0024】また、駐車スペースの奥隅部に設置した駐車誘導装置の第2の車体感知センサーで車の後端部を感知するので、駐車スペースに後壁がない場合でも使用できる。さらに、駐車スペースに車を進入させる際は、進入可能サイン灯と誘導音とで誘導するとともに、車を停止する位置を停止サイン灯と警告音とで知らせるため、光と音とで、車を安全に、誘導・停止させることが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施の形態に係る駐車誘導装置の外観を示す斜視図。

【図2】同上の駐車誘導装置を設置した駐車スペースに車が入る状態を示す上面図。

【図3】駐車スペースに入ってくる車を駐車誘導装置で感知している状態を示す正面図。

【図4】同上の駐車誘導装置を設置した駐車スペースに車が入った状態を示す上面図。

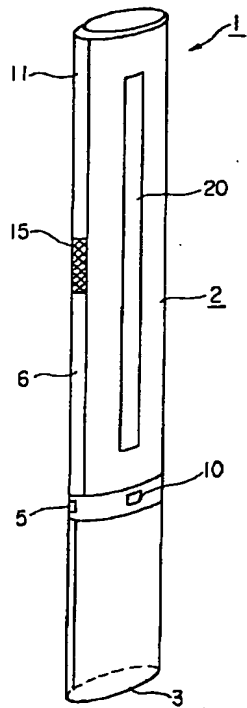
【図5】駐車スペースに入車した車を駐車誘導装置で感知している状態を示す正面図。

【図6】駐車誘導装置の夜間専用照明灯が点灯している状態を示す正面図。

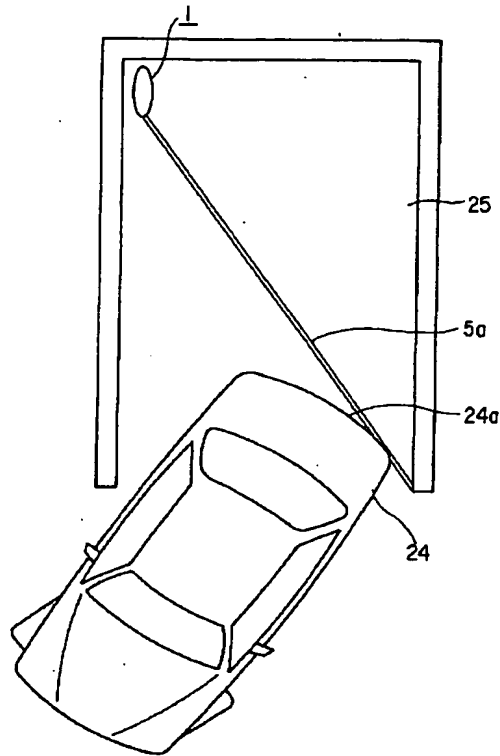
【符号の説明】

5…第1の車体感知センサー、
6…進入可能サイン灯、
10…第2の車体感知センサー、
11…停止サイン灯、
15…スピーカ（発生装置）、
20…夜間専用照明灯、
24…車、
25…駐車スペース。

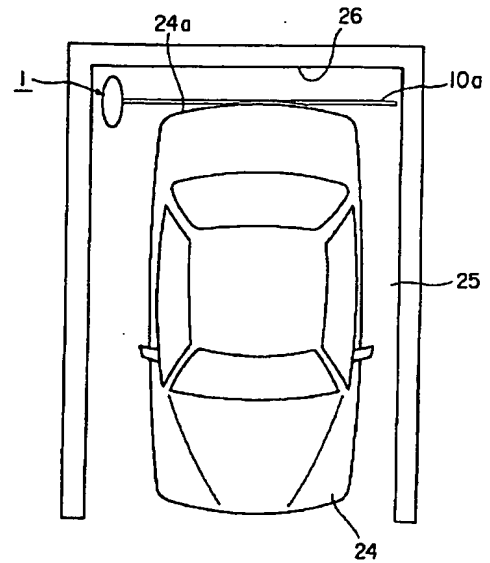
【図1】



【図2】



【図4】

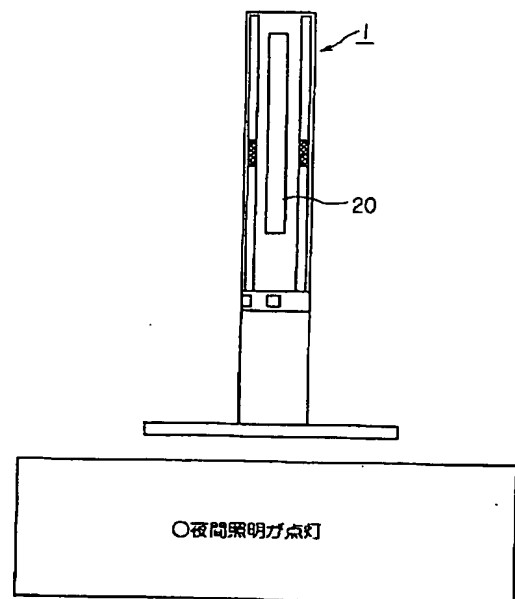
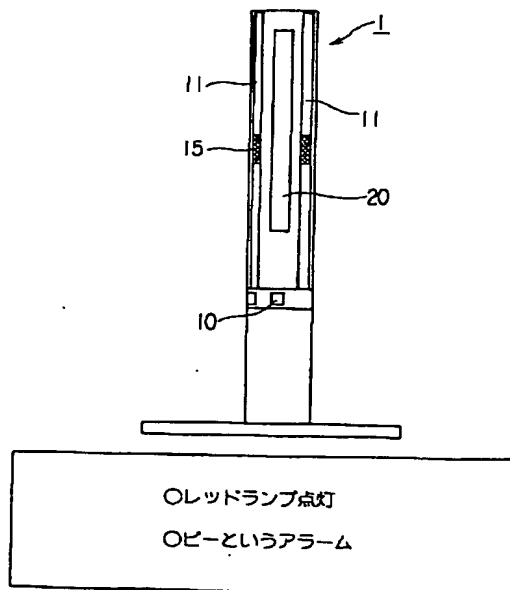


【図6】

3. 数秒後に第2の車体感知センサーが切れ、
レッドランプ消灯

【図5】

2. 車が駐車スペースに入り切ると
第2の車体感知センサーで感知



【図3】

1. 駐車スペースに入ってくる車を
第1の車体感知センサーで感知

